

導水路事業からの撤退を表明した

河村名古屋市長の英断を高く評価し、歓迎します。

愛知県にも撤退のための真摯な検討を求めます。

私たちが提出していた木曽川水系連絡導水路事業への公金支出差止を求める監査請求に対し、愛知県監査委員から却下の通知があった翌5月15日、私たちは、思わぬうれしいマスコミ報道を得ました。

それは、河村たかし名古屋市長が、導水路事業からの撤退を表明し、同時に水資源機構に対し、5月25日が期限の「第1回建設負担金」の支払い拒否を通告した、というものでした。

私たちは、去る3月1日の当会の設立総会に前触れもなく顔を出し、事業の妥当性に対する疑問を展開した資料を購入していった河村「市長立候補予定者」の姿を思い起こします。

行政のムダを省き、ムダ遣いを許さないという河村市長の信条からすれば、この導水路事業ほどムダなものはありません。私たちは、河村市長の勇氣ある決断を高く評価し、歓迎します。

同時に、名古屋市と同じ立場にある愛知県も、名古屋市長の判断を重く受け止め、直ちに導水路事業からの撤退に向けた検討に入るべきだと考えます。

私たちは、監査請求の却下を受けて、公金支出差止請求の住民訴訟を準備していますが、判決を待つまでもなく、愛知県の賢明な判断によって、ムダな公共事業へのムダな支出が止められることを願って止みません。

2009年 5月19日

導水路はいらない！愛知の会